



### コミュニケーション No.3

発行日時：2018年6月4日 00:00 文書番号；4. 03

宛先：全参加者 ページ数；1

発行者：競技会組織委員会 添付資料；なし

発行内容：使用タイヤのマーキングとリスタートについて

1. 次にあげる各 TC 通過直後、使用本数管理の為のタイヤマーキングを行なう。

1. TC0 (競技スタート)
2. TC4C (リグループ・Exit)
3. TC7B (サービスB・Exit)
4. TC9D (サービスD・Exit)
5. TC13C (サービスE・Exit)

2. タイヤへのマーキングは、参加車両に装着しているタイヤのサイドウォールにカーナンバーを書き込む事とし、スペアタイヤについては行わない。

但し、スペアタイヤのトレッド面に使用確認の為の記しを書き込む。

尚、サイドウォールにカーナンバーの書き込みが無い未使用のスペアタイヤについては、他の未使用タイヤに変更する場合の申告を不要とする。

注：マーキング時に、各タイヤのトレッド面に規定の溝が確認されない場合は例外無く出走出来ない。

3. 次にあげる各 TC 通過前に、タイヤマーキングのチェックを行う。

1. TC4A (サービスA In)
2. TC7A (リグループ In)
3. TC9A (サービスC In)
4. TC13A (リグループ In)
5. TC17A (サービスF In)

注1：タイヤの残溝について、スリップサインの露出等明らかな摩耗を確認した場合随時計測する。

注2：破損によりホイールを交換する場合、技術委員長まで申告し確認を得ること。

4. 再出走 (リスタート) 申請車両の再車両検査について

4-1 JSRの再出走申請を受理された参加車両のうち、整備が完了した車両についてはLEG1の20時まで再出走の為の車両検査を受け付ける。又その後の夜間整備を行った場合、再車両検査はLEG2の午前7時より自車スタート時間の30分前までとする。

4-2 全日本のリスタート申請を受理された参加車両のうち、整備が完了した車両についてはLEG1の21時まで再出走の為の車両検査を受け付ける。又その後の夜間整備を行った場合、再車両検査はLEG2の午前7時より7時45分の間とする。

4-3 JSR、全日本、共に再車検場所はサービスパーク内技術テント前とする。